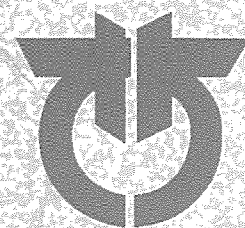


人権教育広報

ふれあい



第14号

編集・発行 桶川市人権教育推進協議会

人権標語優秀作品

どうしたの? きにしてけると うれしいね

● 桶川西小1年 かとう しゅう 加藤 終 ●

おはようで みんなにえがお とどけたい

● 加納 小2年 なりた とら 成田 虎 ●

気づこうよ だれかがだしてる SOS

● 川田谷小4年 さかまき こころ 坂巻 心優 ●

されて言われていやなこと

はっきり言おう もうやめて

● 桶川東小3年 こじま まなみ 小嶋 愛心 ●

強いのは いじめる人より まもる人

● 日出谷小6年 たなか ゆゆ 田中 結々 ●

「ありがとう」 クラスメイトの 合言葉

● 朝日 小5年 おかだ 岡田さくら ●

たくさんの 心をつなぐ 笑顔の輪

● 桶川 小5年 なかむら くれあ 中村 紅玲 ●

みんな違ってあたり前 個性はそれぞれ無限大

● 桶川 中1年 ふくしま ゆうこ 福島 勇吾 ●

次世代へ 人の優しさ バトンパス

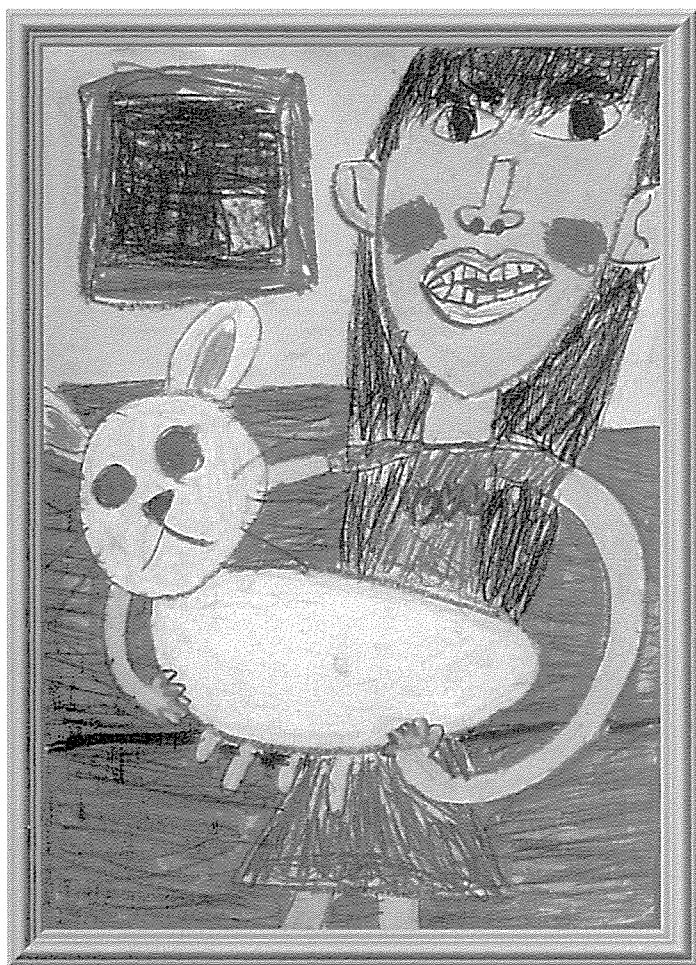
● 桶川東中1年 くりはら なおき 栗原 直輝 ●

いじめはね しないさせない ゆるさない

● 桶川西中3年 みずたに ももこ 水谷 桃子 ●

思いやる 気持ちがあれば いじめなし

● 加納 中1年 なみき まやの 並木舞也乃 ●



日出谷小学校 2年 星 佑里香

(児童・生徒名については敬称略)



地域と共につくる豊かな体験

桶川市立桶川西小学校

本校では、「差別の不合理に気づき、人権尊重の精神を培い、生活の中にある偏見や差別をなくしていく態度を育てる」を人権教育目標に掲げ、全ての教育活動を通じて人権教育を推進しています。

また、学校課題研究として「学ぶことの楽しさを味わわせ、基礎基本の充実を図る算数指導」をテーマにし、算数教育を研究する中で、学習や生活を通じて、学校・家庭・地域が一体となった人権教育に取り組んでいます。

十一月五日(土)に本校PTA主催の「くすの木まつり」が開催され、保護者と地域ボランティアの方々の協力で子供たちは、豊かな体験をすることができました。

中心となってクイズ大会を行い、まつりの開催を盛り上げました。そして桶川市のマスコットの「オケちゃん」の登場とともにおまつりが始まり、保護者の方々のついたお餅を食べました。また、親子連の方々の昔遊びや桶川市民吹奏楽団の方々の楽しい音楽祭、消防署や上尾警察の方々によるレスキュー体験、自転車シミュレーターでのマナー体験などさまざまな体験をすることができました。保護者や地域の方々のたくさんのご協力で、子供たちは多くの交流をすることにより、親子のふれあいを深め友達との仲間意識を高めることができました。この「くすの木まつり」が、地域への愛着へとつながっていくことを願います。



全教育活動を通じた人権教育の推進

桶川市立川田谷小学校

本校では、人権教育目標「人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育成する」を掲げ、教育活動全体を通じて、児童・教職員の人権意識を高める取組を行っています。

学校生活の中では、人権メッセージや人権標語、人権作文への取り組み、あいさつ運動やなかよし給食、読み聞かせ活動などを通して、豊かな人権感覚の育成を目指しています。授業の中では、全教職員が道徳教育に意欲的に取り組み、授業参観や学校公開の時には、道徳の授業を積極的に公開することで、家庭・地域にも人権教育の大切さを考え、理解してもらい、学校・家庭・地域が連携して心身

ともに健康な児童の育成を目指しています。学校課題研究において、体育科では、「意欲的に運動に取り組み、心身を磨き合う児童の育成」を目指し、児童がお互いの立場や考えを認め合い、思いやりの心が育つように取り組んでいます。さらに、教職員自身の人権意識の高揚を図るために、人権教育啓発DVDを視聴し、同和問題やインターネットによる人権侵害などについて、意見交換を行っています。

このように、学校・家庭・地域が一体となって、人権教育の推進に努め、児童一人一人の人権感覚の育成を図っています。



本校では、学校教育目標「志をもち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」のもと、人権教育目標を「1 人権意識を高める 2 人権に関する正しい理解を深める 3 様々な人権課題を解決しようとする態度を育てる」とし、全教育活動を通して人権教育に取り組んでいます。

具体的な取り組みとしては、まず、人権作文と人権標語に全校で取り組みました。普段何気なく過ごしている学校生活を振り返ることができるよう機会となり、多くの生徒が人権とは何かを考え、一人一人が持っている人権を守るためにはどうすればよいかという意識を高めていました。また、地域の方や家族との触れ合いの中で感じたことを作文にする生徒もいて、社会に対して自分には何ができるかを具体的に考えることもできました。

その他にも、夏休み中の除草、小学生との触れ合い、落ち葉掃きといったボランティア

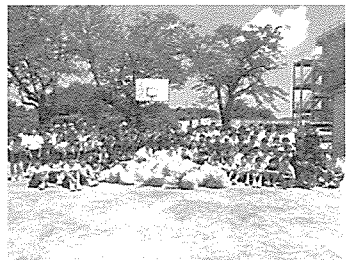
本校では、学校教育目標「学ぼう未来へ育てよう心と体」を具現化するため、人権教育目標「①一人ひとりの人権を尊重する能力、態度、実践力を養う。②相手の立場を考え、共に学びあえる正しい理解と認識を育てる。」を設定して人権教育を推進しています。

本年度は、まず四月に起こった熊本地震に對しての義援金を送るための活動からスタートしました。この活動は、六月に生徒会を中心に、五十六名の生徒が取り組みました。全校の生徒や教職員を始め、地域の方々のご協力もあって多額の募金が集まり、被災地へ送ることができました。

十一月から十二月にかけては、校内の樹木や街路樹の落ち葉はきの活動を行っています。これは、生徒会と環境委員会が中心となって取り組んでいる環境美化活動の一環です。今年度は、部活動や多くの有志の生徒も参加して取り組むことができました。

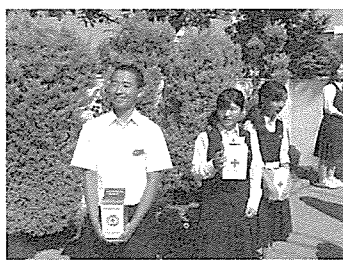
活動を行いました。また、あいさつ運動、各種委員会による生徒朝会など生徒主体の活動にも力を入れています。こうした、生徒一人一人が活躍でき、それを認め合う取組が、互いの人権を尊重する態度をはぐくむと考えています。

今後、全教育活動を通じて、人権意識を高める教育を推進していきたいと思えます。



本校は青少年赤十字(JRC)登録校として年末に駅頭募金活動を実施しています。お預かりした募金は、日本赤十字社を通じて、NHK海外たすけあい募金に寄付しています。

今後も駅頭募金活動のように学校の枠を越えて地域や社会とのつながりをもつ活動を実施していきますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。



生徒一人一人が活躍し認め合う

桶川市立桶川西中学校



学校の枠を越えた活動を

桶川市立桶川中学校



「人間尊重と人権感覚の育成」

桶川市立朝日小学校

本校では、人権教育目標を「人間尊重に徹し、人権尊重の高揚を図り、人権に対する正しい知識と理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育てる」として、全教育活動を通じて人権教育に取り組んでいます。

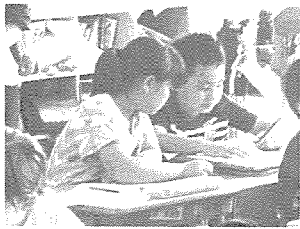
自他の違いに気づき、互いを尊重する心を育むには、望ましい人間関係づくりと思いやりが基本です。そのため、互いが顔見知りになってよい人間関係が始まるように全クラス交代で、PTAと協力しての「あいさつ運動」を行っています。また、二年生から六年生までの班をつくっての「縦割り清掃」の取組でも異学年の発達の違いを理解し、助け合う活動ができるようになっています。また、学習の場面

でも、「学び合い」としてペアや小グループでの話し合いの時間を設け、「自分の意見を言う」「友だちの意見を聞く」ことを通して、互いの違いを理解し尊重する力を育むようにしています。

また、毎年、職員研修を行い、教職員の人権意識・人権感覚の向上を目指しています。

本年は、人権教育啓発DVD「めぐみ」の視聴と人権感覚育成プログラムの演習を行いました。教職員の意識の向上と演習による指導力の向上を、児童の自他の尊重や思いやりの心の育成に生かせるように実践していきたいです。

今後も、さまざまな教育活動を通して、人間尊重と人権感覚をもって行動できる児童を育てていきます。



ひかる瞳 てっかい夢 やりぬく力を育む日出谷小

桶川市立日出谷小学校

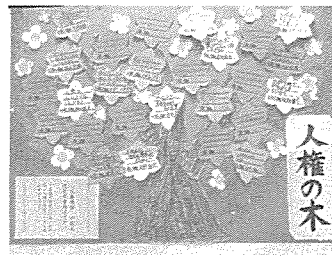
本校では、「共に学び合い、共に生き、共に明日をつくる」を学校教育目標と定め、差別に気づき、差別を許さない人権教育の推進のため、次のような人権教育の取組を行っています。

「心がかようあいさつ運動」
児童会の児童や代表委員、教職員が玄関の前に立ち、あいさつ運動をしています。学校に、朝から元氣のいい声が響き渡ります。笑顔いっぱい、気持ちのよい一日のスタートです。「心はひとつ ふれあいタイム」

「ふれあいタイム」では、一年生から六年生までの縦割り班を作り、活動しています。秋には、日出谷フェスティバルがあり、各班が趣向を凝らした出店を考えます。協力して店の準備をしたり、他の班の店をいっ

しょに回ったりしながら、他学年の児童とふれ合い仲を深めています。上学年は下学年の児童との関わりで思いやりの心をもち、下学年は上学年の児童の優しさに感謝の気持ちをもちます。そして、それぞれの児童が、楽しく遊べたことに喜びを感じています。

「人権の心に触れる木」
人権標語の取組で、「人権の木」という掲示物に各学級の代表児童の作品を掲示しています。友達との作品のすばらしさに触れ、人権について考えるきっかけとなるようにしています。今後も、これらの活動を通して、笑顔いっぱいの日出谷っ子を育てていきます。



人権教育DVDの紹介

〈あなたに伝えたいこと〉
この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知る。

ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える。



〈わたしからはじめよう 人権 子どもの人権〉
子どもの人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と三つのパートで構成。大人からは見えない子どもの本音に迫りながら、子どもの人権を守るためにできることは何かを考える。

『子ども虐待』は、虐待防止センターの相談員の話を中心に、虐待とはなにか、どうしたら防ぐことができるか、掘り下げる。



今年度、上尾道路が開通し、通りから本校がよく見えるようになりました。校舎には、校是「汝の根に注意を集めよ」の壁画が描かれています。生徒自身が根を伸ばし、自ら成長していく力が大切であるという教育の基本理念を表わしたものです。桶西では、心身ともに健やかな成長を促すとともに、他者を思いやり、自ら誇れる自分になれるように、学校全体で人権教育に取り組んでいます。

1. 性教育講演会
助産師の方を招き、命の大切さをテーマに講演していただきました。デートDVなど生徒にとって身近な問題もお話いただき、多くの生徒が真剣に考えていました。

2. 各学年
埼玉県道德教材「明日をめざして」を使用しています。各題材について、自分だけでなく、他者の意見を知ること考えを深めさせていきます。

3. 部活動等
ボランティア活動を通して、コミュニケーション力を育てています。科学部が水族館の管理・運営を通して地域と連携した活動を行っているほか、今年度は、川田谷小学校で学習ボランティアも行いました。

桶西では、今後も積極的に人権教育を推進していきます。



他者への思いやりと自ら誇れる自分づくり

埼玉県立桶川西高等学校

※視聴をご希望の方は、生涯学習文化財課までお申し出ください。

人権作文

私のお母さん

桶川西小学校六年

私のお母さんは、私を命がけて産んでくれました。お母さんは私を産んだ後に、ある病気にかかってしまったのです。でも、いまだに治す方法がないのです。

私は、そのことを初めて聞いたとき、申し訳ないことをしたなと思いました。なぜなら、私が生まれてこなければお母さんは病気にならなかつたからです。私は心の中でごめんなさいと思います。その後も思いを引きずりながら毎日を過ごしていました。そんな冬のある日、買い物から帰ってきたお母さんが、手袋をはずしたとき、お母さんの手を見ると紫色になっていました。気になってお母さんに聞いてみると、

「それは血管が収縮することによって起る病気の一つの症状だよ。」

と言われました。私はそのことを聞いて、

て、心の中でやっぱり生まれてこないほうがよかったのかなと思ひ、ショックでした。私のせいでお母さんが傷ついたり、苦労したりしていると思うと、申し訳ないなと思いました。

それからしばらくして、お母さんがまた手を気にしていたので見てみると、お母さんのつめの後ろの皮がめくれていました。なんでそうなるのか思ひきつて聞いてみると、「血流が悪くなつて起きる病気の一つの症状だよ。」

と言われました。そのことを聞いて、生まれてこなければよかったという思ひが前よりもつと強くなりました。私はある日、お母さんに病気になるってショックだったのか聞いてみました。お母さんは、

「全然そんなことないよ。」

と言いました。私はどうしてそんなふうにしたのかとても気になりましたが、聞きませんでした。その後も聞かないようにしていました。ある日、がまんができなくなったので思い切つて、どうして病気になったのにショックじゃないのか聞いてみました。すると、

「あなたが生まれてきてくれたからだ

よ。」

と言いました。それに加えて、「あなたの顔を見てとても幸せな気持ちになったからだよ。」とも言いました。私は、このことを聞いて、気持ちが少しよくなつて嬉しくなりました。

私は、このことから、命の大切さを学びました。いつもニュースを見ると、殺人事件や暴行事件などいろいろなのが世の中で起こつています。私はそれらの事件を見てみると不思議に思ひます。みんなそれぞれのお母さんが一生けん命産んでくれたり、育ててくれたりした命を大切にしないのはおかしいと思うからです。私はそのような行いをする人たちが許せません。そういう人たちには、もっと命のことについて考へてほしいです。私はこのような体験からも、命をもつと大切にしなければいけないと心から強く思ひました。そして、私はたくさんの人に自分の命、他人の命を大切にしてほしいと思ひます。

編集後記

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

さまざまな人権課題解決のために、私たち一人一人が人権感覚を磨き、自らの課題として受け止め、日々の実践に向けて努力していきましょう。

桶川市教育委員会生涯学習文化財課
〒363-8501 桶川市上日出谷936-1
TEL 048-786-3211 (代表)